



インスピレーションになる

2018 ~ 2019 年度
R I テーマ

BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 バリー・ラシン (国籍・バハマ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキハ別府店7F 〒874-8558 別府市北浜2丁目9番1号
TEL (0977) 23-1111 FAX 26-3123
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	西馬 良和	理事	後藤 隆	役員	会長	梅津 圭二	S A A	佐々木久宜
〃	鳴海 淳郎	〃	亀井 孝	副会長	西馬 良和	直前会長	佐々木久宜	
〃	村津 忠久	〃	近藤 賢司	幹事	土谷 昌志			
〃	平野 教康	〃		会計	森園 伸也			

VOL. 31 - 27
2019年1月22日

第1407回例会

会報委員長 森 宗明

◆点 鐘 12:30

◆R S 別府中央R.C.の歌

◆唱 歌 かあさんの歌

会長の時間

会長 梅津 圭二

みなさんこんにちは！第27回「会長の時間」の時間です！

今日から2日間大分トキハ会館で、九州生花商団体連合会大分大会が開催されています。

今日の花は「シンビジューム」というお花です。ラン科で原産地は東南アジア、中国、インド、日本など。花の時期は12月から3月くらいです。シクラメンと並ぶ年末年始の贈り物として人気があります。花が終わった後の翌シーズンにも自然と花が出てくるので管理の手間が少なく長く飾れる植物です。

本日の花言葉は「華やかな恋」です。

「世界中に花と幸せそして奉仕の心があふれますように！」

「別府中央ロータリークラブ30周年記念式典の日までカウントダウンあと143日です！」

以上「会長の時間」の時間でした！

◆出席報告

委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	6 名
前 々 回 の 訂 正 1/8	欠 席 数	5 名
	出 席 率	73.69 %
	出 席 率	84.21 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	6 名
	修 正 出 席 率	84.21 %

連 続	一 回	
通 算	750 回	100 %

・メイクアップ

事前 近藤 (別府)

事後

欠席 堀、大島、梶原、近藤、中尾

理事会承認

出席免除 鳴海、溝部、河村、衛藤、木村、森



幹事報告

土谷 昌志

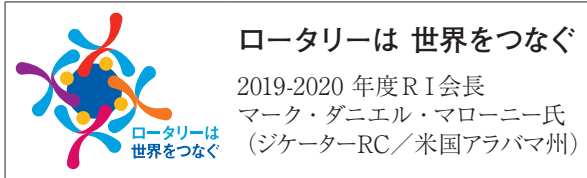
—職業奉仕月間—

1. 本日の卓話

「創立30周年記念卓話リレー⑫」

梶原 茂樹 会員

2. 2019-2020年度国際ロータリーのテーマ



3. 2019-2020年度地区研修・協議会開催のご案内

開催日 平成31年 3月31日 (日)

登録開始 9:00~

10:00開会点鐘~ 16:30閉会点鐘

※懇親会は予定していません

会場 ホルトホール大分

〒870-0839 大分市金池南1-5-1

ホスト 中津ロータリークラブ並びに大分第1グループ内各クラブ

出席義務者 (2019~2020年度での名称)

・ガバナー補佐・地区研修委員会・地区部門長・地区委員長・地区委員
・クラブ会長・幹事・会計・分科会に該当する委員長もしくは委員

申込期限 2月18日(月) 必着

登録料 1名につき¥5,000

4. 地区事務所移転のお知らせ

名称 国際ロータリー第2720地区 地区事務所

住所 〒860-0807 熊本市中央区下通2-7-7
アールテラス4F

TEL: 096-312-2720

FAX: 096-355-2720

E-mail: ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

※電話番号等に変更ありません。

5. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より

第6回米山功労クラブ感謝状が届きましたので、本日ご披露いたします。

6. 国際ロータリー日本事務局より村津忠久会員

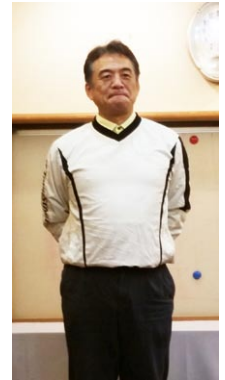
へポールハリスフェロー(5回目)のピンバッジが届きました。本日、ご披露し、お渡し致します。

7. 1月20日(日) 9:45~大分東急ゴルフクラブに於いて。「第7回別府中央ロータリークラブ親睦ゴルフコンペ」を開催致しました。

優勝: 梶原茂樹会員

準優勝: 亀井 孝会員

参加者: 梅津圭二会長、平野英壽、平野教康、梶原和朗、梶原茂樹、亀井孝、前田哲矢、森園伸也、佐々木久宜、土谷昌志 各会員



8. お祝い

会員誕生日 梶原 茂樹会員 (1月17日)

平野 英壽会員 (1月25日)

※記念品をお渡し致します。

皆 勤 津末美代子会員 (1月18日=19年)

9. 例会変更のお知らせ

別府RC 1月25日(金)の例会は、もつ鍋例会(夜例会)の為、同日18:30~かなわ荘に時間・場所変更

大分中央RC 2月5日(火)の例会は、夜例会の為、同日18:00~ホテル日航大分オアシスタワーに時間変更

大分南RC 2月8日(金)の例会は職場例会の為、同日12:00~大分市美術館に時間・場所変更

10. 次回例会の予定

「創立30周年記念卓話リレー⑬」

11. 本日の回覧

① 中津RC週報

② 別府市自衛隊協力会より「扇山」

③「大分第3グループIM」出・欠席

④「溝部学園書道教室」出・欠席

⑤「別府中央RC親睦ゴルフコンペ」出・欠席



スマイルボックス 委員長 高宮 勝美

○梅津会長

本日は梶原支店長の卓話を楽しみにしております。

よろしく願いいたします。

○梶原会員

ゴルフコンペは念願の初優勝させていただきました。ドラコン賞もいただいて幸せな一日でした。もう一回優勝したいので頑張ります。

○村津会員

このところ、気持ちの良い冬晴れの日が続きます。

感謝してスマイル。

○前田会員

ゴルフもう少し練習します。

○土谷会員

皆さん、この前のゴルフお疲れ様でした。優勝するつもりでいつもラウンドするのですが、なかなか思うような理想のゴルフが出来ません。少し練習をしようかな！

銀行業務といえば、預金や融資、窓販を想像されると思いますが、銀行員にとって最も厳しい仕事であった「資産査定」というものについてお話しします。「資産査定」とは、銀行を監督する金融庁の検査で使われる言葉です。

銀行は、ご融資したものが回収不能に陥るリスクを抱えています。その回収不能となるリスクに備えて引当金を積むことが、銀行経営の健全性を維持するために必要となっています。

その手法は、貸出先を、野財務内容などを基に個別に分析して5段階にグループわけを行います。良いほうから二つ目までが正常債権、残り三つが不良債権として開示対象になります。

グループ毎に回収不能リスクに応じた引当率が算定され、貸倒引当金を積む訳ですが、積み増した分は当該決算期の信用コストとして経費処理されます。引当金が大きくなれば銀行決算は赤字に振れますし、小さくなれば黒字方向に振れます。

この作業を、銀行自身が個別貸出先毎にリスクを査定することから「自己査定」といい、金融庁検査において「自己査定」を検査するイベントが「資産査定」です。

金融庁は銀行にとっては大変怖い存在で、立入検査権や資料提出請求権を持っていて、従わない場合は罰則があります。「業務改善命令」「業務停止命令」「登録取消」の行政処分の権限を持っています。

それでは、金融庁検査における「資産査定」とはどんなものであったかをお話しします。

一般的な金融庁検査では、主任検査官を筆頭にして10名程度の検査官がチームで投入されます。その検査の中で最も恐れられていたのが、最初に行われる「資産査定」で、個別の貸出先のリスクを検査官が突いてきて、銀行に引当金の積み増しをさせようとする金融庁に、銀行は防戦を強いられます。

銀行とすれば、「自己査定」で正常債権と査定した貸出先を、「資産査定」で検査官によって不良債権にされてしまうことで、引当金の積み増しにより大切な自己資本を毀損させてしまうことや、決算が赤字になることは極力避けたいですし、お取引先が不当に不良債権に判定させられた場合、銀行としての支援の継続が難しくなるケースも生じますので、銀行の不良債権のあぶり出しに執念を燃やす検査官に対し、銀行は毎回全力を

卓 話

梶原 茂樹

卓話要約

私の昨年の卓話では、大学の3年を終えて2年間休学し、アメリカからヨーロッパを放浪したときのお話をさせていただきましたが、帰国して大学に復帰し、4年生をやって、ストレート組とは2年遅れて、平成元年に豊和銀行に入行いたしました。

今年の春で入社してちょうど30年。14の部支店に勤務し、13回の転勤を経験。支店長は5ヵ店目です。

最初に配属された支店の支店長が素晴らしい上司で、今日まで、その支店長を超える上司にめぐり合っておりません。もし、最初の配属店の支店長が別の方であったなら、とうに辞めていたかも。





上げての防戦となります。

なかなかイメージし難いと思いますが、平成25年放映のテレビドラマ「半沢直樹」をご覧になった方は思い出してください。「資産査定」で執拗に銀行を追い詰める場面がありましたが、当時は、実際の現場もこれに近い辛辣な検査が日本全国で繰り広げられていました。

「資産査定」について更に具体的に説明します。銀行には前もって金融庁からいつから検査に入るか通知があり、営業店では、速やかに準備に取り掛かります。「自己査定」の資料を見直し、金融庁が要求する資料を揃え、どのように説明するか作戦を立てます。

説明者は各支店の支店長（本店営業部は次長以上の複数で説明）と補助者が1名の各支店2名で臨みます。説明資料に穴がないか入念にチェックし、場合によっては作り直しが必要になったりします。通常の業務をこなしながらですから、当然に遅くまで残業となりますし、休日もフルに使って準備することになります。

受験当日は、朝早めに集合し、本部役員等から上手く説明するようにと檄が飛びますが、説明に失敗して不良債権を増やせば大事なるのは皆分かっているのです、説明者の支店長はかなりのプレッシャーを感じます。

本店の会議室が受験会場となり、検査官の人数分のブースが設営されます。各ブースに検査官が1名。順番が来たら支店長と補助者は、抽出先の融資稟議書と決算書綴りを台車で運び込んで、検査官と名刺交換してから「資産査定」がスタートします。

説明資料一式は、ラインシートという定型フォーマットに概況書や各種疎明資料を添付していて、それを使って説明していきます。

銀行の「自己査定」通りで納得してくれば良。検査官からの想定外の質問に答えることができなかつたり、当方の主張を認めてもらえず、あきらめ切れなかつたりした場合には、「ペンディング」と称して保留扱いにしてくれることもあります。その場合は支店に帰ってから速やかに質問の回答を調べたり、反論根拠を組み立てたりして、新たな説明資料を作成して、翌日再チャレンジします。

検査官にも当たり外れがありまして、こちらのお話をよく理解してくれる検査官もいれば、高圧的で傲慢な検査官もいます。私が本店営業部の次長

で迎えた金融庁検査は相当に厳しい「資産査定」で忘れることはできません。ペンディングの雨あられとなり、連日反論資料を作成し、翌日再チャレンジの毎日となりました。ほぼ毎日徹夜。店舗で仮眠を取り、早朝シャワーと着替えに帰宅してすぐ出勤の日々が土日を含んで11日間続いたと記憶しています。11日目の最後の貸出先の説明が終わり、控え室に戻った瞬間、共に戦った先輩と二人、座り込んだまま放心状態で、しばらくの間全く動くことができなかつたことを昨日のこのように思い出します。後にも先にもこんなに厳しい「資産査定」はありませんでした。

驚いた方もいらっしゃると思いますが、これは10数年前の話でして、実は現在も同じ様な金融庁検査が行われているかという、そうではありません。平成25年に就任した森信親金融庁長官によって金融行政は大改革が成されました。

これまで銀行に不良債権処理を迫り、行政処分を下す権限を持った鬼の監督官庁であった金融庁が、銀行の率いる企業の成長や満足度の向上を優先する新たな機軸を打ち立てたのであります。

そして金融庁は、不良資産をあぶりだすことを目的とした「資産査定」を原則廃止とします。また、「金融検査マニュアル」も存在自体が有害だとして最近廃止となりました。

金融庁は今、地方銀行には地方創生にいかに関与するかを求めています。大きく三つのポイントがあります。

第一に、地域の企業の経営改善にいかに関与するか。第二に、事業再生や転廃業への支援。第三に、担保や保証依存の融資姿勢からの転換。この三点です。

地方銀行経営は健全性の核保優先から、いかに地域に貢献できるのかが問われる時代になりました。

私の勤務する豊和銀行でも「地域への徹底支援による地域活性化」を基本方針として「地元大分になくしてはならない地域銀行」を目指して、頭取以下一丸となって地方創生に貢献しようとしています。私自身も銀行業務を通じて、地方創生に貢献していくことをお誓い申し上げて結びといたします。